

# 福井新聞

## 合併後初「伊自良祭り」 旧美山と福井 つながり描く

### 住民ら寸劇熱演 特産品販売も

旧美山町上味見地区に人たちを楽ませた。館を構え、鎌倉時代から江戸時代まで栄華を誇った豪族、伊自良氏の歴史を伝える「第七回伊自良祭り」は二十八日、福井市大手町の蓬萊の里で開かれた。と旧美山町の古くからの地域住民が寸劇発表や座禅、乗馬体験など多彩な催しを繰り広げ、訪れた住民ら十五人が陣羽織を着て出演し、祝いの

どを着て出演。加藤宗月が伊自良氏の館を訪れ、妻の病気を相談。勧められた占い師の提言に従って、花野谷に天満宮を建設したところ妻の病気が治ったという物語を演じた。能楽愛好家の青木伸方さん(三〇)「脇三ヶ町」がゲスト出演し、祝いの

能を舞った。

また、この日のために

同里にある旧赤心資料館

(伊自良の里資料館)の

梅田秀彦前館長が作詞、

美山地区で音楽活動をして

いる森川かおりさんが

作曲した「伊自良恋歌」

を披露。ポニーの乗馬体

験、赤カブや地酒など地

元の特産品を販売した門

前市、住民らによる伝統

芸能発表なども人気を集

めていた。



地域住民が史実や伝承に基づき、伊自良氏の歴史を紹介した寸劇。28日、福井市大手町の蓬萊の里